

週刊 女川湾海況速報 (No.50)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

7 月 1 日から 5 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温と塩分が上昇。経時的には表層（0m）で 4 日に水温が上昇したが、塩分は下降。底層（6m）では、3 日から水温が下降し、4～5 日には 13℃台を示した。塩分については期間を通じて徐々に上昇。4 日の表層の塩分下降は降水の影響、3 日以降の底層の水温下降は外洋水の影響と推定。

水深 [m]	7月1日 (月)	7月2日 (火)	7月3日 (水)	7月4日 (木)	7月5日 (金)
0	17.4 (32.4)	18.2 (32.8)	17.9 (32.9)	18.4 (32.1)	17.6 (32.8)
6	15.1 (32.9)	15.3 (33.1)	14.5 (33.1)	13.2 (33.2)	13.3 (33.2)

水温の単位は℃。*5 日は水深 5m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降傾向。経時的には底層で 2 日に一旦下降したが、それ以降は上昇。特に外洋水の影響があった 4 日に顕著な上昇。（単位は FTU）

水深 [m]	7月1日 (月)	7月2日 (火)	7月3日 (水)	7月4日 (木)	7月5日 (金)
0	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7
6	1.1	0.7	1.1	1.7	1.9

③溶存酸素：先々週と比較して全層で下降したが、7～8mg/l 台を維持。経時的には表層で 4 日に一旦下降し、期間を通じての最小を示した。底層では 3 日に下降し、4 日も同程度の低い値（8.3mg/l）を維持。

水深 [m]	7月1日 (月)	7月2日 (火)	7月3日 (水)	7月4日 (木)	7月5日 (金)
0	8.5	8.8	8.5	7.7	7.9
6	8.6	8.7	8.3	8.3	8.6

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 11.8～17.6℃、32.9～33.4 の範囲にあり、先週と比較して全層で水温と塩分が上昇。濁度は 0.7～1.3FTU の範囲にあり、底層（20m）で最大。溶存酸素は 8.3～8.8mg/l の範囲にあり、底層で最小。

7 月 3 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	17.6	32.9	0.7	8.6
5	14.8	33.2	0.9	8.7
10	13.2	33.3	0.8	8.8
15	12.4	33.3	0.9	8.7
20	11.8	33.4	1.3	8.3

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。